



2月号
西東京市立上向台小学校
令和8年2月2日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ
～子どもたちの未来を共に創りませんか～

副校長 河又 学

日本の年末年始には、様々な伝統行事が行われています。例えば、年末には除夜の鐘や歳の市、年始には初詣や七草がゆなどがありますが、私の幼い頃の年始の思い出の一つが、「どんど焼き」です。私の住んでいた地域では、近所の田んぼを会場として、書き初めやお守りなどをお焚き上げしてもらったり、色の付いた三色団子を焼いて持ち帰って家族みんなで食べたりした記憶があります（焦げてしまって苦かった記憶とともに…）。

西東京市においては現在でも、明保中学校、保谷第二小学校、そして上向台小学校の3校で実施されています。今年は市長や教育長を含む約820名の方が本校の校庭を訪れ、2つのやぐらの火を囲みました。材料は、遠く新潟県から運び込まれたそうです。準備から片付けまで、長期間にわたり様々なお立場で御尽力くださった皆様のおかげで、今年一年間の無病息災を祈願することができました。厚く御礼申し上げます。

さて、近年、急激な社会の変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化、多様化しています。学校では、多様な児童・生徒への対応が必要になってきています。また、地域では、家族形態の変化、価値観やライフスタイルの多様化などにより、地域社会における支え合いやつながりが希薄化することによって、地域社会の停滞や教育力の低下などが指摘されています。

そのような状況において大切なことは、誰かが何とかしてくれるのではなく、自分たちが「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていき、ひいては、子どもたちが幸せに安心して暮らせるまち、子どもたちが「志」を果たしていける未来を創り上げていくことです。

そのような未来を見据え、平成 29 年 3 月に社会教育法が改正されました。この改正では、教育委員会による連携協力体制の整備や、地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）」に関する規定が整備されました。また、学習指導要領においては、学校が地域の実態等に応じ、教育活動の実施に必要な人的・物的な体制を家庭や地域の人々の協力を得ながら整備、「地域学校協働活動」を進めることを重要視するようになりました。そして、学校、家庭、地域社会がそれぞれの教育機能を発揮し、全体としてバランスのとれた教育が子どもたちに対して行われることを目指すことが示されました。

前述しました「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことです。「地域学校協働活動」の推進により、それぞれの地域の未来を担う子どもたちが、地域の方々に見守られ、支えられながら、豊かな学びや体験の機会を得て、健やかに成長していくことは、地域に愛着をもち、地域に貢献したいと考える人材の育成につながります。そのためには「地域に開かれた学校」として、地域と連携・協働していくことは不可欠です。ただし、「地域連携＝貸し借り」になってしまうと、認識や考え方の違いにより差が生じ、「こんなにやってあげているのに、何でやってくれないんだ！」という負担感や不平・不満につながってしまいます。



(出典：NITS 独立行政法人教職員支援機構)

そこで、貸し借りにしないためにも、地域と学校がそれぞれの目標に向かうのではなく、共通の目標に向かっていきたいと考えています。

地域と連携・協働していくにあたって、地域のもつ教育資源に精通しているコーディネーター役となる「地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）」が学校と地域との連絡整備を行い、学校のニーズを基に地域の協力者を集めます。学校と地域、双方向の意見をすり合わせ、互いの役割を認識し合って協働しながら、子どもたちの育成につながる活動にしていきます。

本校においても、地域との関わりのある活動として、冒頭のどんど焼き実行委員の他に、田倉農園、「なかよし農園」での農園指導、シチズン、近隣のスーパーやコンビニエンスストア、町探検でお世話になった企業等、小金井公園ボランティア団体「桜守の会」や「樹木の会」、国境なき医師団、育成会「ひろがり」、上小ガーディアンズ、おやじの会、サルビアカフェ、避難所運営協議会、西東京市獣医師会、西東京市体育協会、西東京市社会を明るくする運動実施委員会、田無警察署、西東京消防署、西東京市みどり環境部、生

活文化スポーツ部、健康福祉部、近隣幼稚園・保育園・中学校・高校などと連携・協働して学習を進めています。

「地域とともにある学校」を目指すために大切にしたいことは、「同じ方向を向くこと」です。
学校が抱える課題を地域に一方的にお願いするのではなく、また、地域が一過性の応援団で終わるのではなく、「上向台小学校に通う子どもたちのために、一緒に何ができるか」を考え、語り合い、共に活動できる関係でありたいと強く思います。

特別な技術や経験は必要ありません。子どもが好き、学校の様子を見たい、時間が空いていて何かしたい、そのようなお気持ちをおもちの方はいらっしゃいませんか。

登下校の見守り、図書室の飾り付け、読み聞かせ、DIYで修繕、植物の水やりや畑の整備、クラブ活動の補助、ミシンの補助、あやとり、折り紙

など、週1回でも、週1時間でも、不定期でも構いません。

ぜひ、保護者・地域の皆様と共に「地域とともにある学校」を創り、上向台小学校に通う子どもたちを育んでいきたいと考えています。皆様の温かいお気持ち、心からお待ち申し上げております。

【上小応援団 募集中！】

件名：上小応援団 ①氏名、②住所、③連絡先、④ボランティア可能な内容
E-mail：e-kmukou@nishitokyo.ed.jp まで御連絡ください。

コミュニティ・スクール HP：<https://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai/soshiki/gakuumnkyo.html>